



健康な芝草を育てる。

# 芝楽シリカ999

## 丈夫な芝生で費用削減

「芝楽シリカ999」は純度99%以上のパウダー状のシリカゲルです。

荷 姿： 2kg袋・10袋 合計20kg/ダンボール箱

使用方法： 通常は1g/m<sup>2</sup>～2g/m<sup>2</sup>を水に溶かして葉面散布して下さい。

芝生に元気がない時には2g/m<sup>2</sup>でのご利用をお勧め致します。

日本土壤肥料学会では「濃度障害、量障害のない唯一の物質」と規定されており、濃すぎても過剰害はありませんが、葉面に白く残る場合があります。

他の薬剤・肥料と混用されても凝固するケースは殆ど見られておりませんが、特別な薬剤と混用の場合は事前にお試し下さい。

◆ 株式会社 松山物産

〒880-0303

宮崎市佐土原町東上那珂 13838-2

TEL 0985-74-0236

FAX 0983-44-6567

販売店

〒243-0807 神奈川県厚木市金田834-1

株式会社 大谷金太郎商事

TEL 046-224-7363 FAX 046-223-0070



# なるべく農薬を使わない為に

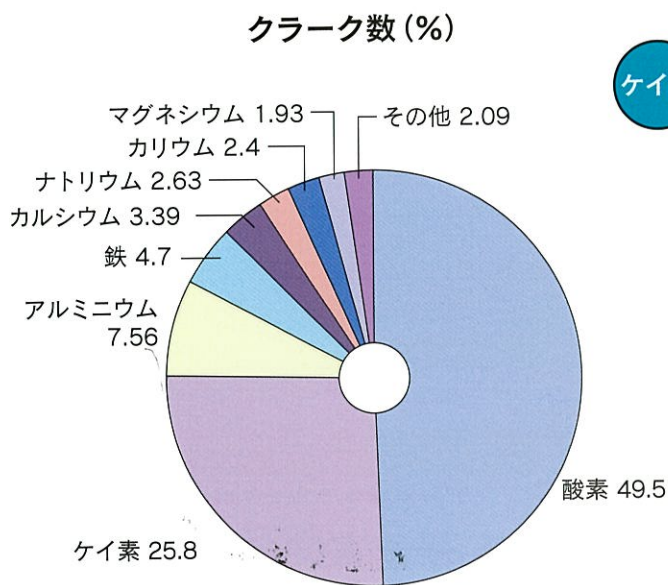
二酸化ケイ素(ケイ酸)は農薬でも肥料でもありません。然しその効果は学術的に見ると、作物の表面構造、酵素活性、病虫害抵抗性、水分欠乏耐性、塩類過剰抵抗性、冷害抵抗性などが挙げられます。「芝楽シリカ999」は純度99%以上の高純度パウダー状のシリカゲルです。

二酸化ケイ素は、ケイ素、酸素、水素の化合物で土壤中に60～80%含まれている安全で動物・植物に不可欠とされる微量要素です。シリカゲルは、99%以上のケイ酸分を含み水の中での成分溶出のパターンはめざましいものがあります。土壤も多くのケイ酸分を含みますがシリカゲルはその6～8倍ものケイ酸を溶出しますし、ケイ酸以外のアルカリ成分を含まないので、大変使いやすい資材です。

芝の茎葉に集積したシリカは、出葉角度を小さくして太陽光を受け止める姿勢を作り光合成を盛んにします。その結果体内窒素の過剰害を低下させることで耐病性向上につなげています。葉では細胞壁直下にゲル化した状態を保って、太陽光が弱い時にシリカレンズを働かせ、太陽光が強過ぎる時にはこのレンズを隠すように調整し、余分な蒸散も防ぎます。また茎葉の軟弱化を防止し更なる耐病性を向上させます。対虫害性におけるケイ酸成分の寄与という事では、昆虫類の本能、嗜好性として、強固でない組織を好むと言う事があります。表皮組織を硬く出来ると云う事は虫の好みに反する事です。昆虫のメスが産卵する時は自分の好みの草や野菜に必ず卵を産み付けます。昆虫はその作物が栄養過多、特にケイ酸が少なく窒素が多いというような事を鋭く見抜く能力を持っていると言われています。

近年、グリーンや畑地では植物によるケイ酸の持ち出しによるシリカ不足が顕著となり、各種病害虫発生の懸念が高まっております。イネのいもち病の実験では、ケイ酸を十分与えたイネに、いもち病菌を接種すると、菌が侵入したというシグナルを全身に発し、侵入部位に集積します。細胞自ら「過敏反応死」による抵抗反応で、病原菌が侵入した細胞が能動的に死に至ります。そして「過敏細胞死」を起こした細胞周辺には「ファイトアレキシン」と呼ばれる物質が蓄積される事が明らかとなっております。過敏反応死した細胞にケイ素が集積している現実から推測すると、ケイ素は特異な動きをするようです。

またキュウリ、マスクメロン、イチゴ、バラ等のうどん粉病抑制にも、抗菌性物質である「ファイトアレキシン」誘導にも関与していることも明らかになっています。



地表の元素の中で最も多いのが酸素に次いで**ケイ素**であることがわかります。

